

景気が堅調に上向き、有効求人倍率は上昇の一途をたどっている。リクルートワークス研究所の調査によると、企業の求人数を就職希望者数で割った2018年春卒の大卒求人倍率は1.78倍と6年連続で増加している。つまり「売り手市場」が続いているわけで、企業側は採用が難しくなっているのだ。就職活動をする学生たちは、人気の高い企業や職種に集中し、多くの企業は人材確保に頭を悩ませている。

そんななか、企業側は従来と異なる方式によって採用活動の幅を広げている。特に、ウェブ面接を導入する企業が増えているのだ。

実際に、ウェブ面接に特化した採用システム「インタビューメーカー」を導入したダイドードリンコの採用担当者に話を聞いた。

--なぜウェブ面接を導入したのか。

ダイドードリンコ採用担当者（以下、ダイドー） 海外志向の優秀な学生を採用するためにボストンキャリアフォーラムに参加していますが、フォーラム中の短い期間に内々定まで伝えられないことがあります。学生は帰国まで半年ほどかかることもあるので、それまで待つのは困難であり、そのような学生との接点を持ちたいと考え、導入しました。

--たとえば、スカイプなどを利用して面接することもできると思うが、わざわざウェブ面接専用のシステムを導入したのはなぜか。

ダイドー スカイプだと面接は可能ですが、募集要項や各書類の紐付けができないため、管理が煩雑になります。インタビューメーカーであれば、システム上でメール送信やウェブ面接の録画もできるので便利です。無料のお試し期間があったので、実際に試してみたら導入を決められました

--導入してみて、導入前と何が変わりましたか

ダイドー 導入したシステムのなかで、「動画選考」という機能があります。自己PRの様子を動画に収めてもらうのですが、書類だけでは伝わらない人柄などがわかりやすくなりました。人事のマンパワーの関係で直接面接できる人数には限りがありますが、動画選考によってマッチングの精度を上げながら、絞り込みが的確に行えるようになりました。

ボストンキャリアフォーラムの開催期間では、限られた人しか面接できませんが、システムを導入したことによりフォーラム後でも日本にいながら、アメリカにいる学生とウェブ面接を2回行い、直接会うことなく内定出しまで可能となりました。

また、海外にいる内定候補者に対するフォローについて 従来はメールでやり取りをしながら 帰国後に直接面談していましたが 内定出しまでに時間が空くことを懸念していました。時差の問題はありますが、ウェブ面接機能は内定者フォローの面談にも活用できると考えます。

●実際にウェブ面接を利用した内定者

ウェブ面接のシステムは、企業側にとっては速やかに遠隔地にいる求職者に対して内定まで漕ぎ着けることができるというメリットがあるようだ。一方、面接を受ける側にはどのようなメリットがあるだろうか。

実際にウェブ面接を受け、ダイドードリンコで内定を得た人物にも話を聞いた。

--面接から採用までの流れを教えてください。

内定者 ポストキャリアフォーラムで一度面接を受け その後も海外にいたため、メールでやり取りをした上で、スマートフォンを使ってウェブ面接を行いました

--スマホで面接を受けてみた率直な感想を聞かせてください。

内定者 対面での面接と同じような感覚で話せができたと思います。

--ほかにもウェブ面接を受けた企業はありますか。

内定者 何社か受けました。ネットマーケティングの企業など、いずれもIT系でした。

--対面より緊張しそうなイメージですが、デメリットは感じませんでしたか。

内定者 特に緊張はしませんでした。

--ほかにも変わった面接を受けた経験はありますか。

内定者 ある衣類メーカーで、自己PR動画を撮って送るというものがありませんでした。動画を撮り慣れていなかったため、それは緊張しました。

--面接を行った際、どのような場所で臨みましたか。

内定者 ホテルの部屋で行いました。静かな場所で、なおかつWi-Fiが繋がる場所となると、ホテルが最適でした。

--実際に会社に行かずに内定を受けることに不安はありませんでしたか

内定者 多少の不安はありましたが、ウェブの面接で採用が決まるというのも、時代の流れかなと思います。会社に関する事など、欲しい情報はほとんどネットなどで得られるので、不都合は感じません

--ウェブ面接のメリット・デメリットを教えてください。

内定者 いつでも、どこでも面接を受けられるというのはメリットです 実際に、海外にいながら内定までもらえたので、よかったです。反対に、ネットを利用するので当然、通信環境が不安定な場所だとうまく面接できないという懸念はあります

--これからウェブ面接を受けるという人がいたら、どのようなアドバイスをしますか。

内定者 対面での面接と同様に、十分に準備して臨むことが重要です。自宅やホテルで面接ができるからといって気を抜きすぎず、服装や画面に映る部屋の様子などにも気を配る

べきだと思います

--ありがとうございました。

中小企業基盤整備機構が行ったアンケートによると、中小企業の74%が人手不足だと回答したという。そのため、優秀な人材を効率よく、迅速に確保したいという企業側のニーズが増す可能性が高い。それに伴い、採用の方法も多様化していくのかもしれない

今後、働き方改革、経営の効率化などとともに、採用活動にも注目度が高まってくるだろう。

(構成 = 編集部)